

平成31年度 鶴岡市予算特集



新しい総合計画の スタートにあたって

鶴岡市長 皆川治

平成31年度は、今後10年間の市政の方
向を定めた第2次鶴岡市総合計画に基づ
いて施策を実施する初年度になります。
折しも、平成からの御代替わりの中で、
鶴岡の優れた自然、歴史、文化、産業等
の資源を生かしつつ、時代の変化に的確
に対応していくことが求められています。
新総合計画は、審議会をはじめ市民ワ
ークショップなど多くの市民の皆様の声
を踏まえて策定されたものであり、新た
に、産業、まちづくり、人材育成など多
様な分野を横断する7つの「未来創造の
プロジェクト」の取り組みを創設してい
ます。

新年度予算では、これまで積み上げら
れてきた施策と成果を引き継ぎつつ、10
年間で農業産出額300億円を400億
円に、観光客数630万人を790万人
に伸ばすなどの目標に向け、各種事業を
盛り込み編成しました。

特に未来創造のプロジェクトでは、①
「若者・子育て世代応援」で、若者の地元
回帰を促す新しい奨学金返済支援制度の
検討、②「城下町つるおかリブランディ
ング」では、松ヶ岡開墾150年、酒井公入
部400年を契機とした城下町のブラン
ド化を図ります。また、③「産業強化イ
ノベーション」では、単年度経済波及効果30

第2次鶴岡市総合計画が始動します！

『毎日、おいしい。ここで、暮らしたい。』

第2次鶴岡市総合計画キャッチフレーズ



若者・子育て世代応援

- 若者の地元回帰を促すため、奨学金返済支援等プログラムの創設を検討
- 中学3年生までの医療費自己負担、第3子以降の給食費を無償化 等



全世代全対象型 地域包括ケア推進

- 「地域包括ケア推進室」を設置し、地域包括ケア・地域福祉・地域医療を一体的に推進
- 地域包括支援センターの支援体制を強化 等

輝く女性活躍推進



- 男女共同参画の啓発を図るため推進イベント等を開催
- 仕事と家庭生活の両立（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた「イクボス」の普及啓発 等

社会システムを
整える

未来創造の プロジェクト

分野横断的に展開し
相乗効果を発揮

城下町つるおか リブランディング



- 「酒井公入部400年記念事業準備室」の設置
- 松ヶ岡開墾場など本市固有の魅力を磨き上げ地域活性化を推進 等

産業をのびす

まちを
活性化する



産業強化イノベーション

- 慶大先端生命研の研究教育活動に支援し、地元企業との共同研究、新産業開拓を推進
- 事業用地の取得や設備投資に対する優遇制度により企業立地・設備投資を促進 等

地域国際化SDGs推進



- 外国人材の受け入れや外国人居住者の支援を強化
- 国連が定めるSDGs(持続可能な開発目標)の市民向け啓発活動を推進
- 地域や家庭・事業所での再生エネルギー利用・導入を支援 等

億円とされた慶大先端生命研への支援と地元企業との共同研究による新産業開拓④「食文化・食産業創造」では、全国の自治体等と食文化を活用した研究会を立ち上げ、内外へのアピールを強化します。さらに、⑤「輝く女性活躍推進」や⑥「全世界対象型地域包括ケア推進」では、働き方改革を進めるとともに、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりに取り組み、⑦「地域国際化SDGs推進」では、外国人材の受け入れ体制を強化することで、地域の国際化と持続可能なまちづくりへの市民理解を促進します。こうしたプロジェクトを始動し、若者・子育て世代に選ばれ、みんなが暮らしやすいまちづくりを実現するため、新年度の組織機構の見直しとして、企画部に酒井公入部400年記念事業準備室、健康福祉部に地域包括ケア推進室を設置します。また、鶴岡市観光連盟を観光地域づくりのかじ取り役を担う組織（DMO）に転換するなど、制度も整えながら各分野で総合的に事業を実施します。さらに、各地域コミュニティや旧市町村地域が、それぞれの個性を發揮し、本市の魅力が一層高まるよう、総合交付金の拡充や地域まちづくり未来基金を活用して自立・分散型のまちづくりを展開します。

市民・企業など様々な主体と力を合せ、新総合計画を着実に推進し、目指す都市像「ほんとうの豊かさを追求する みんなが暮らしやすい 創造と伝統のまち鶴岡」の実現に取り組みします。

平成31年度の予算総額は 1,396億4,588万3千円

会計別内訳

一般会計

730億8,700万円

(対前年度比 +11.9%)

福祉、医療、教育、道路の整備など基礎的な行政サービスを行うための会計です。

今年度は、前年度の予算と比べて77億4,700万円（11.9%）増え、過去最高の予算額です。

特別会計

312億6,451万3千円

(対前年度比 +2.6%)

特定の事業を特定の収入で賄う会計です。収支を明確にするために、一般会計から独立しています。

会計別の予算額は下の表のとおりです。

名称	予算額	対前年度比
国民健康保険特別会計	126億9,043万8千円	+2.4%
後期高齢者医療保険特別会計	15億5,462万円	+0.5%
介護保険特別会計	169億4,370万3千円	+2.9%
休日夜間診療所特別会計	6,829万5千円	+6.8%
墓園事業特別会計	745万7千円	-0.7%

企業会計

352億9,437万円

(対前年度比 +4.2%)

民間企業と同様に、事業の収益によって運営している会計です。地方公共団体が経営する企業を地方公営企業と言います。

会計別の予算額は下の表のとおりです。

名称	予算額	対前年度比
病院事業会計	172億6,856万7千円	+2.9%
水道事業会計	50億8,180万7千円	+7.2%
下水道事業会計	129億4,399万6千円	+4.9%

前年度と比べた歳入の状況（主な増減の理由）

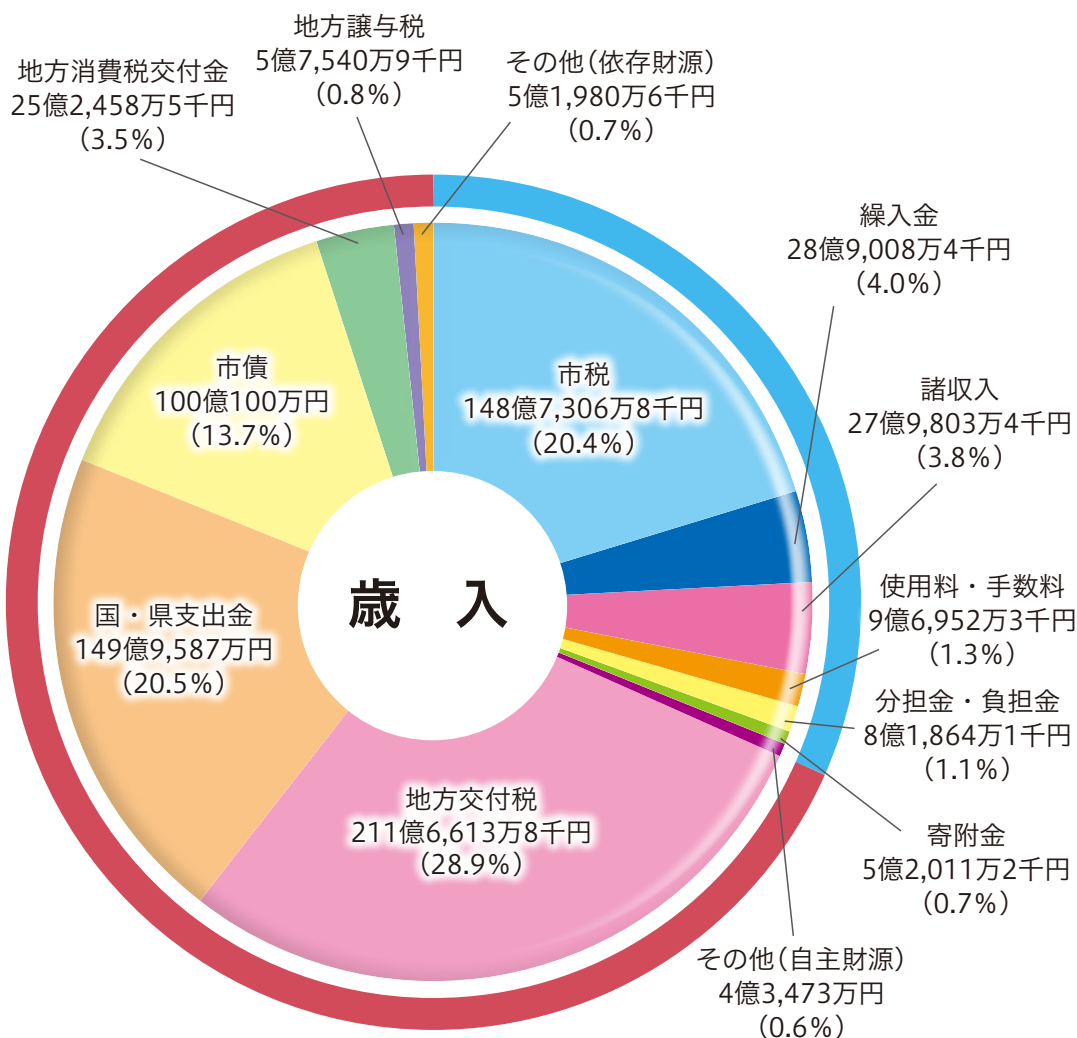
自主財源

- 市税…1億5,511万2千円の**増**
雇用環境の改善による市民税の増収や家屋に対する固定資産税等の増収
- 繰入金…10億5,664万4千円の**増**
- 諸収入…9,012万1千円の**増**
文化会館自主事業等入場料等の増額
- 分担金・負担金…1億6,404万2千円の**減**
国の幼児教育無償化に伴う保育料収入等の減額
- 寄附金…1億4,997万8千円の**減**
ふるさと寄附金への返礼品の返礼率見直しによる減額

依存財源

- 地方交付税…1億6,650万9千円の**減**
合併特例期間終了後の段階的縮減等による減額
- 国庫支出金…25億2,583万8千円の**増**
廃棄物処理施設整備交付金や循環型社会形成推進交付金等の増額
- 県支出金…9,635万9千円の**増**
子どものための教育・保育給付費県費負担金等の増額
- 市債…38億5,900万円の**増**
- 地方消費税交付金…2億1,992万6千円の**増**

730億8,700万円



歳入に占める割合

自主財源…31.9%
市税など、自主的な収入

- 市税
- 繰入金
- 諸収入
- 使用料・手数料
- 分担金・負担金
- 寄附金 等

依存財源…68.1%
地方交付税など、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入

- 地方交付税
- 国・県支出金
- 市債
- 地方消費税交付金
- 地方譲与税 等

- 市税、地方交付税、国・県支出金、市債…12ページの用語解説参照
- 繰入金…特定の事業のために積み立てたお金（基金）などから繰り入れるお金
- 分担金・負担金…特定の利益を受けた人から負担してもらうお金
- 地方消費税交付金…消費税の一部が人口と従業者数に応じて交付されるお金
- 地方譲与税…国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

前年度と比べた歳出の状況

- 民生費…6億8,952万9千円の**増**
- 衛生費…56億7,377万8千円の**増**
- 公債費…4億772万3千円の**増**
- 総務費…4億2,697万3千円の**増**
- 土木費…4,121万3千円の**減**
- 教育費…1億7,359万3千円の**増**
- 農林水産業費…4,702万8千円の**増**
- 商工費…3億3,196万9千円の**増**
- 消防費…5,610万6千円の**増**
- 議会費…1,429万2千円の**減**
- その他…419万4千円の**減**

前年度と比べた歳出の性質別状況（主な増減の理由）

※13ページのグラフ「一般会計歳出の構成別推移」参照。

- 人件費…0.7%の**減**
職員数の減や退職手当組合負担金の減額
- 物件費…7.8%の**増**
人事給与システム等の改修業務委託料やスクールバスの運行委託料の増額
- 維持補修費…9.6%の**増**
漁港管理事業やし尿処理事業の増額
- 扶助費…1.3%の**増**
- 子どものための教育・保育給付事業や児童扶養手当支給事業の増額
- 補助費等…0.2%の**減**
下水道事業会計負担金やふるさと寄附金事業の減額
- 普通建設事業費…100.8%の**増**
ごみ焼却施設と一般廃棄物最終処分場の整備事業の増額
- 公債費…5.1%の**増**
平成25年度に発行した市場公募債の満期一括償還

一般会計予算額

歳出に占める割合

消費的経費…59.5%

物件費や補助費など、後年に形を残さずに消費される性質のお金

投資的経費…17.4%

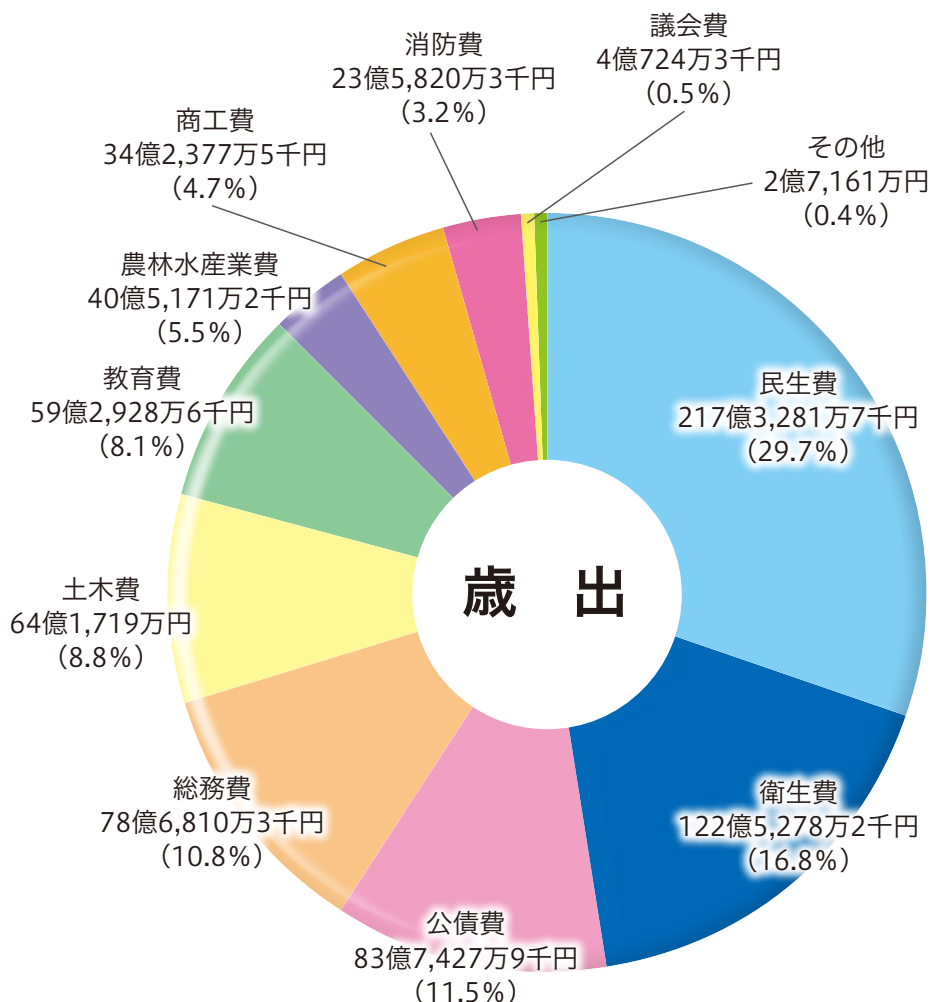
建設事業などのように、社会資本として将来に残るものに使われる性質のお金

その他…23.1%

上記のうち

義務的経費…44.8%

人件費や扶助費、公債費のように、支出が義務付けられ、任意に節減できないお金



○民生費…福祉や保育などのためのお金

○衛生費…健康増進やごみ処理などのためのお金

○公債費…借金返済に充てるお金

○総務費…課税・納税、職員管理などのほか、総務・企画的な業務のためのお金

○土木費…道路や橋の建設などのためのお金

○教育費…教育などのためのお金

○農林水産業費…農林水産業の振興のためのお金

○商工費…商工業や観光の振興のためのお金

○消防費…消防や救急、救助活動などのためのお金

○議会費…市議会の運営のためのお金

平成31年度 鶴岡市の主要事業

新年度とともに新しい総合計画がスタート。

鶴岡市がもつと暮らしやすい魅力あふれるまちになるよう、「若者の地元回帰促進」「鶴岡ならではの観光振興」「農業人材の確保・育成」「地域コミュニティの活性化」「各地域の個性を生かしたまちづくり」などの事業に力を入れて取り組めます。

農・林・水産業

農業を支える人材の確保と育成

1億216万円

本市の基幹産業である農業。農業研修拠点施設(旧いこいの村庄内)を活用し、域外からの新規就農者の確保・育成に取り組めます。

また、就農意欲の喚起や就農後の定着を図るため、就農時の個人のニーズに応じた小規模農業用機械・施設の導入に対する補助金や奨学金、農業次世代人材投資事業補助金、新規就農アドバイザーの現地指導等によって、新規就農者を支援します。



学びと交流



若者・子育て世代応援

若者の地元回帰を促す奨学プログラムの検討

389万円

教育にかかる経済的な負担を軽減するため、新たな奨学金返済支援制度の創設を検討します。また、小・中学生の段階から地元企業を知り、地元就職について考える鶴岡独自のキャリア教育の確立に向けた検討も行い、学生・若者の交流事業や地元企業へのインターンシップのマッチングなども含む、次世代を担う若者の地元回帰・Uターンにつながる奨学プログラムの構築を目指します。

暮らしと防災

新しいごみ焼却施設と一般廃棄物最終処分場の整備

69億303万円

私たちがきれいな環境で暮らし続けていくために欠かせないのがごみ処理施設です。ごみ焼却施設は2020年度中の完成に向けて、また一般廃棄物最終処分場は2021年度中の完成に向けて、それぞれ建設工事等を進めます。



地域の振興

地域まちづくり未来事業

2億6,238万円

地域の意見を反映して策定した「地域まちづくり未来事業計画」に基づいて、全ての地域が個性を發揮し、地域を担う人材を育成するまちづくり事業を実施します。

学びと交流 商工と観光



食文化・食産業創造
地域国際化SDGs推進

食文化創造都市推進事業

5,180万円

国内唯一の「ユネスコ食文化創造都市」として、全国の自治体等と連携した食文化の活用に関する研究会の設立、料理人コンペティション、ふうどツーリズム、つるおかおうち御膳を活用した郷土食講座などの各種事業を展開し、農林水産業や観光業等の成長産業化、食文化の保存と継承につなげます。また海外の食文化創造都市や大学とネットワークを強化して情報発信と交流拡大に取り組めます。

農・林・水産業



森林経営管理事業

3,658万円

東北一広い面積を持つ本市の約7割は森林です。平成30年5月に制定された森林経営管理法に定められた「市主体の新たな森林管理システム」を構築するため、高精度の航空写真と航空レーザー測量を活用して、森林境界明確化や森林を機能別に区分けするための解析データ整備に取り組めます。効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくりを目指します。

6・7ページでは、新年度の主要事業のうち新規・拡充事業を中心に、8～11ページでは、総合計画の施策の大綱に沿って事業を紹介いたします。

学びと交流



産業強化イノベーション

慶應義塾連携協定推進事業

3億5,274万円

慶應義塾大学先端生命科学研究所やバイオベンチャー企業などが集積する本市サイエンスパーク（市内覚岸寺）は、約500人に及ぶ雇用の創出、年間約3,000人の交流人口の増加、年間30億円の経済波及効果をもたらしています。

これらの効果を拡大していくためには、学校法人慶應義塾や山形県との連携、同研究所の研究教育活動の安定的な展開が不可欠です。世界的なバイオ研究拠点の形成に向け、県と協調して引き続き支援します。



商工と観光



城下町つるおかリブランディング

DMOの設立支援

3,918万円

観光で地域経済をけん引する観光経営組織（DMO）を官民一体となって新たにつくり、今年度中の法人化を目指します。

DMOが観光地域づくりの司令塔になり、観光戦略の推進、マーケティング、情報発信などに取り組むことで、地域が観光で稼ぐ力を創出し、国内外に認められる観光都市・鶴岡を実現します。

商工と観光

加茂水族館の更なる魅力向上に向けた振興計画の策定

923万円

加茂水族館は、県内外からの観光誘客をけん引する重要な施設です。今後も安定的な入館者数を確保していくためには、継続的な魅力向上の取り組みが必要です。2024年の10周年リニューアルに向けて、経営や施設の改修などに関する振興基本計画を策定し、計画的・効率的な運営を進めます。

学びと交流

屋内多目的運動施設整備事業

5,052万円

幼児から高齢者まで幅広い年齢の市民に、スポーツや健康・体力づくりを楽しんでもらうため、天候にかかわらず利用できる施設を整備します。競技力向上を目的とした練習施設や個人でも気軽に利用できるウォーキングコースを備えるとともに、市民誰もが安全に安心して利用できるようバリアフリーにも対応します。2021年度の完成に向けて、今年度は実施設計等を進めます。



農・林・水産業

園芸産地つるおかプロジェクト事業

3,657万円

地域特性を生かした園芸品目（ミニトマト、アスパラガス、キュウリ、ニラ、長ネギ、枝豆）の生産面積を拡大し、園芸産地づくりを進めます。

J Aと協力して、農業用ハウス等の施設整備や生産資材の導入を支援し、園芸作物の生産団地化を進めて、農業産出額の拡大を目指します。

暮らしと防災

住民自治組織への交付金等の拡充

- ①住民自治組織総合交付金
- ②広域コミュニティ組織運営・地域づくり交付金

3億3,108万円

- ①町内会等の住民自治組織を支援する交付金の算定基準を見直し、使い方に制限がなく、地域の課題解決などに柔軟に活用できる「地域づくり加算」を新設します。
- ②広域的なコミュニティ組織が行う地域づくり活動を支援し、地域の活性化や課題解決に向けた取り組みの推進を図ります。交付金の使い方の制限を緩和するなど、地域が使いやすい制度に見直します。

福祉と医療

保育所等の整備

9億8,728万円

民間保育所等の定員増を伴う増改築に対して市独自の支援をすることで、保育の受け皿の拡大を図るほか、病児保育・一時預かり・発達支援などの機能を備えた公立保育園の改築整備を進めます。また、熱中症対策として、公立保育園にエアコンを設置するとともに、民間保育所等での設置に対しても支援します。

安全で安心して暮らせる

地域コミュニティの構築

助け合い、支え合う地域コミュニティづくりへの取り組みをはじめ、防災・防犯・交通安全対策の推進と消防救急体制の強化を図ります。
また、移住・定住を促進し、過疎地域の活性化を図るとともに、環境を保全し資源循環型社会の形成に取り組みます。



若者・子育て世代応援

移住・定住の促進

3,589 万円

- 鶴岡アンバサダーによる情報発信
- 首都圏在住者を対象に移住イベントを開催
- 移住希望者に「お試し住宅」を提供し、家賃・保証料等を支援
- 県外からの移住者に本県の産品を支給
- 東京23区等から移住し、県のマッチングサイト掲載求人に応募・就職した場合に移住支援金を支給



地域防災力の強化

362 万円

- 災害発生時の避難所の機能強化を図るため防災資機材を整備
- 地域の防災力強化のため防災講演会や研修会を開催

過疎地域の集落活動支援

6,131 万円

- 地域おこし協力隊を宝谷地区と福栄地区に継続配置、福栄地区には1人増員し、寄り添い型の支援を実施
- 朝日・温海地域に集落支援員を継続配置
- 地域活動拠点の整備に向け大綱地区地域交流センターの外構工事を実施

コミュニティセンター等の整備

2 億 2,655 万円

- 長沼地区地域活動センター移転改築工事、小堅コミュニティセンター実施設計、加茂コミュニティセンター用地測量の実施



若者・子育て世代応援

子育て世代の負担軽減

7 億 5,383 万円

- 今年10月1日から3歳～5歳児の保育所、幼稚園等の利用料を無償化
- 第3子以降の保育料・学校給食費の無償化を継続
- 中学生以下の子供の医療費自己負担額無償化を継続

子育て世代を応援する取り組みをはじめ、子供たちの健やかな成長、心と体の健康づくりのための各種事業を展開します。高齢者や障害者が地域で安心して暮らし続けられる福祉のまちづくりを推進するとともに、医療提供体制の充実を図ります。



荘内病院の医療提供体制充実

9 億 2,716 万円

- 高度医療機器等の整備による地域基幹病院としての医療機能充実
- 医師の業務負担軽減のため、医師事務作業補助者・特定看護師を配置
- 大学卒業後に荘内病院に勤務する意思がある医学生への修学資金貸与
- 関連大学医学部への出張医の派遣依頼や医療人材紹介会社を活用した医師確保



全世代全対象型地域包括ケア推進

高齢者への支援体制強化

5,840 万円

- 鶴岡地区医師会・荘内病院等と一体的に、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制を構築
- 各地域包括支援センターごとに生活支援コーディネーターを継続配置



全世代全対象型地域包括ケア推進

障害者の地域生活を支える環境の整備

225 万円

- 障害者を包括的に支える拠点機能の整備に向けた取り組み
- 障害者差別解消法の趣旨を踏まえた条例制定の検討
- 関係機関等のネットワークを活性化し障害者の自立を支援

生涯を通じて安心して健やかに暮らすことができる社会の形成

いのち輝く人を育て、
歴史や文化でつながる交流の拡大

次世代を担う人づくりを推進するため、学習環境や学校環境を整備します。
高等教育機関による研究開発等を促進し、芸術活動環境の充実、歴史・文化資源の保存・活用、市民スポーツの振興を図るとともに、多文化共生を推進します。



若者・子育て世代応援

教育相談・特別支援教育体制の強化

1億2,052万円

- 特別支援教育に関する研修の充実、学校教育支援員の増員配置
- 教育相談員・スクールカウンセラー等による、児童生徒・保護者・教員への指導・助言



城下町つるおかりブランディング

城下町リブランディング

76万円

- 松ヶ岡開墾150年、酒井公入部400年を契機に、城下町としてのブランド化を図るため、プロジェクト推進委員会を設置



地域国際化SDGs推進

出羽庄内国際村を活用した多文化共生の推進

5,896万円

- 国際交流員を新たに配置し、在住外国人のサポート・受入れ体制を強化



輝く女性活躍推進

「イクボス」の普及啓発

31万円

- 仕事と家庭の両立（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた「イクボス」の普及啓発



鶴岡ホストタウン推進事業

672万円

- 2020年の東京オリンピック・パラリンピック向け、ホストタウン相手国（ドイツ・モルドバ）に訪問団を派遣し、交流・事前合宿の誘致を継続



食文化・食産業創造

産地ブランド力の向上

559万円

- 地域で育まれた産品を保護するGI制度に「焼畑あつみかぶ」をはじめ本市産品の登録を推進
- 食品安全等に取り組む国際水準GAPの必要性を理解し認証の取得を促進するセミナーを開催

地域特性を生かした産地ブランド力の向上や地域農産物の高付加価値化を図ります。
また、森林を適正に管理し、林業振興と森林の公益的機能を保全する仕組みづくり、水産業の活性化に取り組みます。

水産業の振興

1,270万円

- 学校給食向け加工品開発や加工機器導入費用を助成
- 1人乗り漁船による独立希望者に漁船購入費用を助成
- 漁港施設の長寿命化計画を策定



農業生産基盤の維持・整備

10億616万円

- 地域が共同で行う農用地や農業水路等の保全管理、補修・更新などの長寿命化を支援
- 水田での畑作物の生産・高収益作物への転換を促進
- 基盤整備事業により作業効率の向上や規模拡大を図り、収益性の高い農業経営を推進

鳥獣被害防止対策の推進

1,556万円


- サル・イノシシ等の捕獲業務への支援
- 電気柵や防鳥ネット等の被害防止機器購入への支援
- 狩猟免許取得への支援

豊かな食文化を支える農林水産業の
生産拡大と所得向上の実現

国内外との交流の活発化


市域内外の交流を促進し 安全で快適に暮らせるまちの整備促進

働く場の確保や地元への就業を後押しし、雇用の促進を図ります。
慶大先端生命研と地元企業の共同研究や新産業の開拓、中心市街地のにぎわいや魅力ある観光地づくりを進め、地場産業の強化と交流人口の拡大を図ります。

 **若者・子育て世代応援
地域国際化SDGs推進**

若者の地元回帰促進と外国人労働者支援
916万円

- 地域外学生の就職活動経費を支援する市内中小企業に対し助成
- 外国人材活用企業への支援、外国人労働者の生活支援を実施


 **産業強化イノベーション**

企業立地の促進
7億6,989万円

- 企業の市内での設備投資に対する支援
- 市内への本社機能の移転、支店の開設・強化に対する支援
- 新たな産業集積用地開発に向け、ニーズや適地調査・開発手法の情報収集を実施

**創業、事業継承に伴う
空き店舗等リフォームに補助**
500万円


- 市内の空き家・空き店舗を利用した創業、既存店舗で事業継承する際のリフォームを支援

 **産業強化イノベーション**

メタボローム解析技術やバイオ技術を活用した地域企業との連携促進
1億9,827万円


- 慶大先端生命研の高度な研究機能・成果を生かした地元企業との共同研究や新産業の開拓
- バイオ産業集積に向けた取り組みの推進
- 先端研究産業支援センターの適切な管理と利便性の確保

**鶴岡の魅力発信・誘客拡大
国際観光の推進**
5,657万円



- 新潟県・庄内エリアdestinationキャンペーンの観光プロモーション等を支援
- 外国語ホームページ等の充実、鶴岡駅前観光案内所での英語対応


快適な都市環境の形成を進めるとともに、道路、公園、橋梁などの整備・長寿命化や空き家の適正管理・有効活用を図るなど安全・安心な生活環境を整えます。
また、高速交通ネットワークや幹線道路網・生活関連道路網を充実します。

 **交通輸送対策の推進**
2億2,089万円

- 高齢者等の公共交通による外出を支援
- 民間路線バス、地域住民主体の生活交通確保へ助成
- 地域公共交通の再編に向けた課題調査を実施

道路や公園等の整備・長寿命化
8億3,573万円

- 幹線道路網や生活関連道路の整備
- 中心市街地の一方通行解除に向けた山王町本町線の整備
- 公園のトイレ改修や老朽施設の修繕・更新



鶴岡まちづくりブランディング事業
1億3,328万円

- 中心市街地への居住拠点整備の支援、まちづくりを担う人材の育成等による都市機能の集積やまちなか居住の推進
- 国の合同庁舎建設を契機に駐車場の適正配置や公共交通の在り方など、土地利用を検討

空き家の適正な管理と有効活用
2億2,649万円

- 危険空き家に対する応急措置や解体費用を支援
- 空き家バンクによる空き家の利活用推進を支援
- 寄附を受けた空き家を解体・更地化し移住希望者や若者世帯等に住宅用地として供給

地域の特性や資源を生かし

市民が安心して暮らせる地域づくりの推進

鶴岡の豊かな資源・特性を生かし、各地域が連携して、多様性と活力のあるまちづくりを推進します。
人々の交流から新たな価値を生み出し、地域の魅力の更なる向上を図ります。

地域まちづくり未来事業

〈藤島地域〉

- 富士の花のライトアップとイルミネーション等による魅力発信事業



- 人と環境にやさしい農業の推進
- 東田川文化記念館のリノベーション
- 長沼・八栄島地区への地域公共交通導入

6,099 万円

〈櫛引地域〉

- フルーツランドプロジェクト事業



- デマンドバス運行の調査・検討
- ネイチャーランド（自然体験学校）構想の策定と推進
- 黒川能保存伝承支援事業

2,191 万円

〈温海地域〉

- あつみ温泉ばら園整備事業



- 体験型観光の推進
- しな織と鶴岡シルクのコラボレーション商品の研究開発
- 地域公共交通の構築に向けた調査研究

4,095 万円

〈鶴岡地域〉

- 地域活性化プロジェクト事業

広域的なコミュニティ組織が実施する地域活性化プロジェクトへの支援



3,023 万円

〈羽黒地域〉

- 門前町歴史まちづくり推進事業



- 観光情報の発信
- 産地化植栽への支援
- 蝦夷館公園の再整備

5,140 万円

〈朝日地域〉

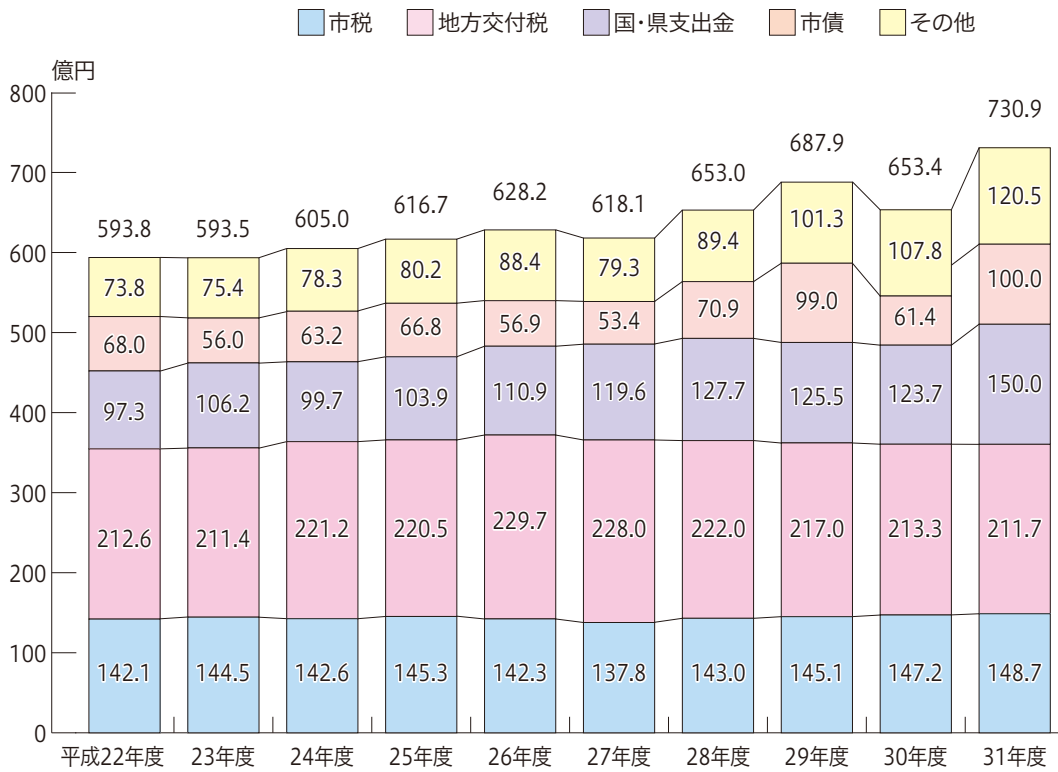
- 観光市営バス運行事業



- タイ国「子どもの村」学園との中学生・高校生国際交流
- 大鳥自然の家の環境教育プログラム開発・施設環境整備
- 森林整備で生じた木材での特産品生産の研究

5,690 万円

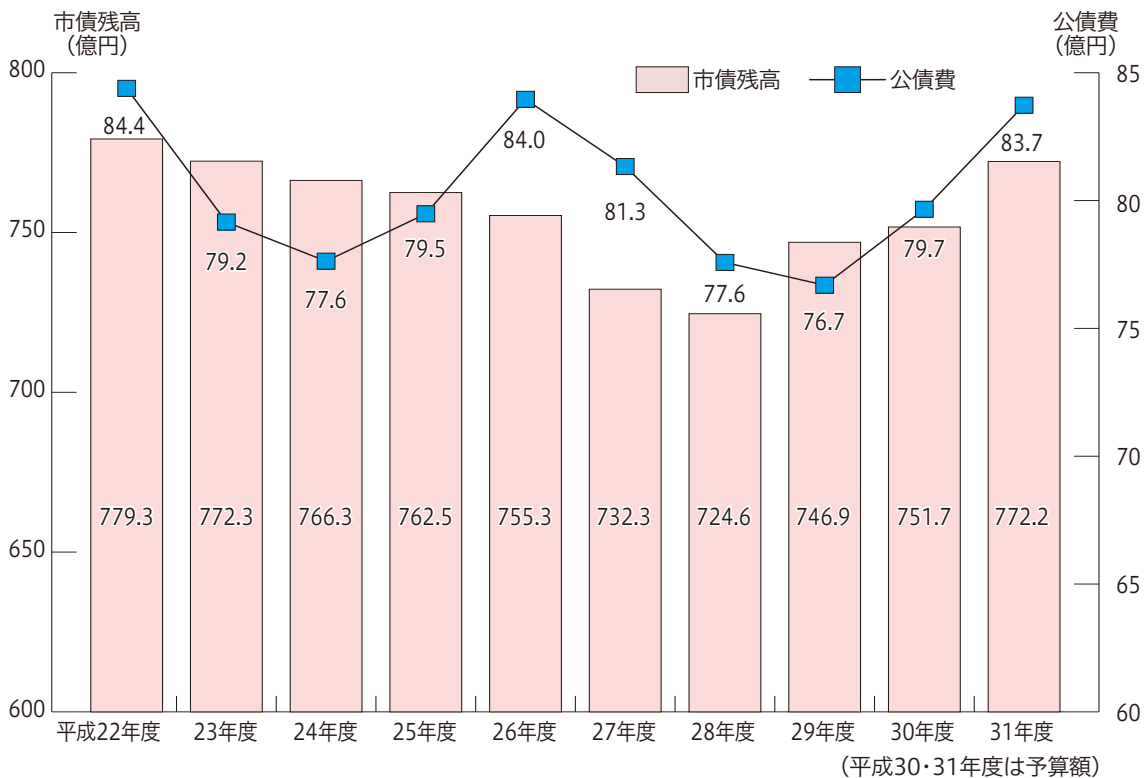
一般会計歳入の構成別推移



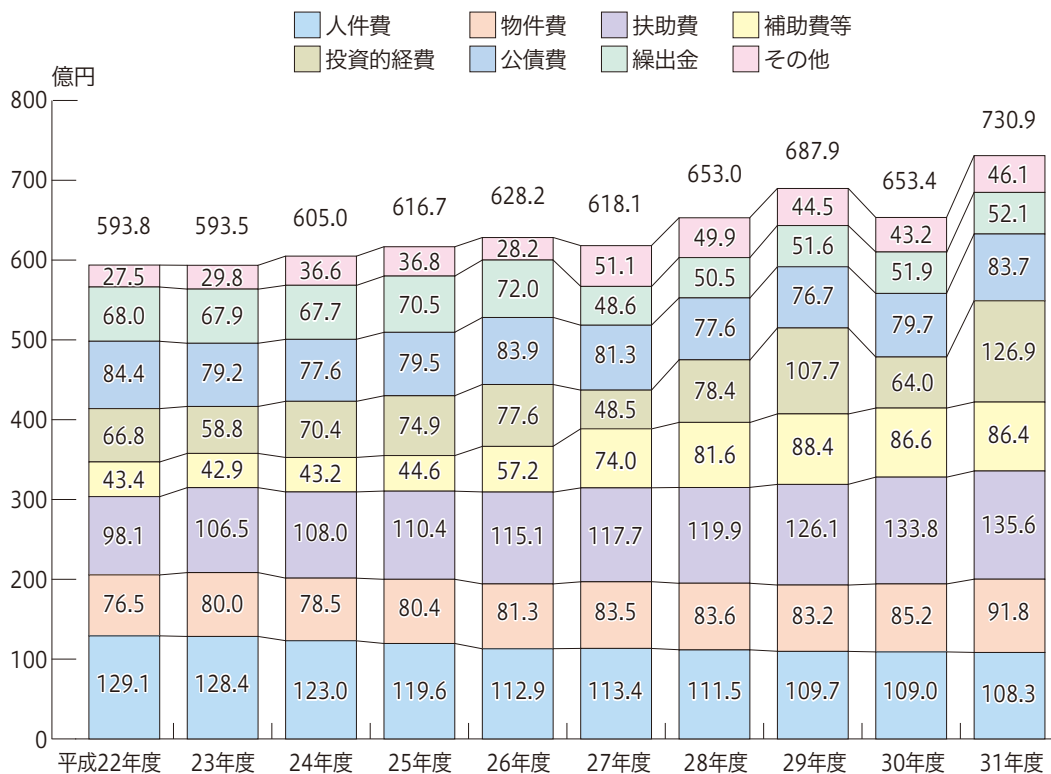
- ・市税…市民が市に納める税金（市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税など）
- ・地方交付税…所得税など国が徴収した税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金
- ・国・県支出金…特定の事務・事業についての財源として、国や県から交付されるお金
- ・市債…建設事業や財政対策などを行うため、金融機関などから借り入れるお金

グラフで紹介します

市債残高と公債費の推移



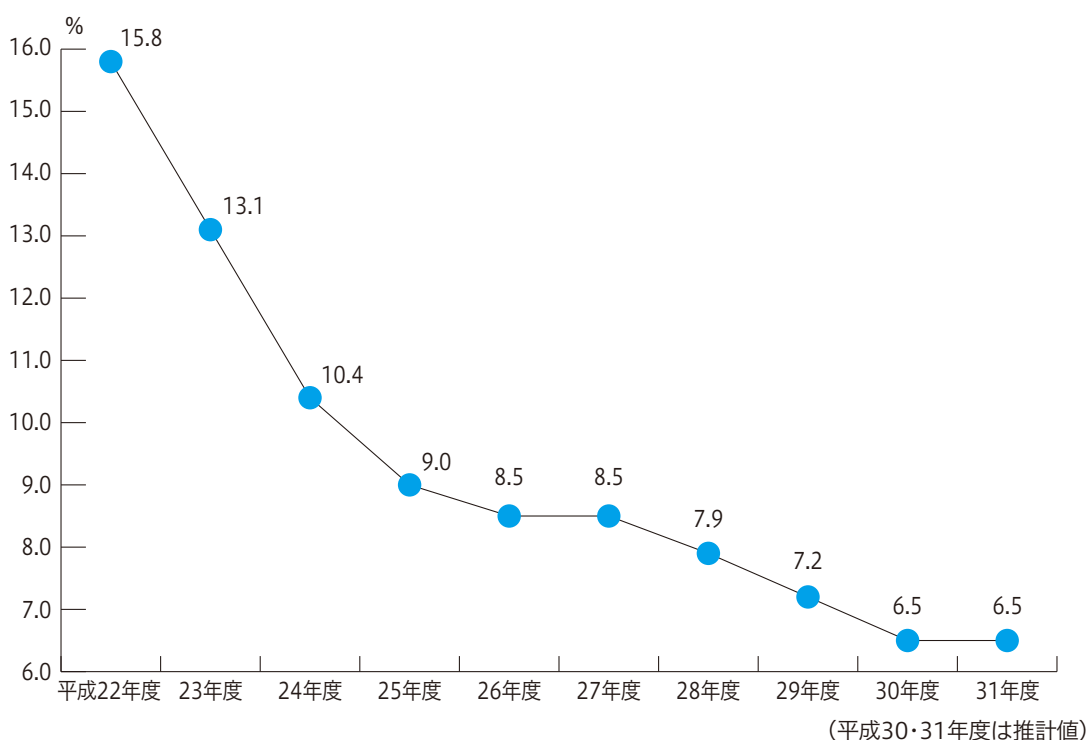
一般会計歳出の構成別推移



- ・人件費…職員の給料、議員や委員の報酬など
- ・物件費…消耗品や備品の購入費用、光熱水費、施設の管理委託料など
- ・扶助費…生活保護費や保育園の委託料、乳児や重度身体障害者への医療給付費など福祉のためのお金
- ・補助費等…各種団体や病院・上下水道事業に対する負担金や補助金など
- ・投資的経費…道路、橋、学校など公共施設の建設経費
- ・公債費…借金の返済に充てるお金
- ・繰出金…介護保険などの給付費に対して、一般会計から負担するお金

鶴岡市の財政状況を

実質公債費比率の状況



- ・実質公債費比率…公債費や公営企業への繰出金などを含めた実質的な公債費相当額が、標準財政規模に占める割合を、3か年平均で表した指標。この比率が18%以上になると市債の発行には県の許可が必要となり、25%以上になると、市債の発行が制限される

平成31年度の主な重点事業

★…新規・レベルアップ事業

◆暮らしと防災

自治組織等運営活動対策事業(★)	1億8,178万8千円
広域コミュニティ推進事業(★)	5億771万6千円
婚活支援事業(★)	406万円
災害に強いまちづくり事業【30年度3月補正予算】	1,546万円
交通安全推進事業〈免許証自主返納サポート〉	560万円
藤島分署移転改築事業(★)	1,400万円
消防施設新営改良事業	8,794万3千円
市営住宅維持管理費(★)	4,985万2千円
地域住宅活性化事業	9,546万4千円
庄内自然博物館構想推進事業	1,970万1千円
ごみ焼却施設整備事業	49億377万3千円
一般廃棄物最終処分場整備事業	19億9,925万7千円
ごみ減量・リサイクル推進事業	3,240万8千円
地域エネルギービジョン推進事業	391万1千円
地域用水環境整備事業	1,406万円

◆福祉と医療

妊婦健康診査・家庭子育て機能育成事業	8,190万4千円
特定不妊治療費助成事業	1,305万2千円
子育て支援医療給付事業	4億2,634万1千円
第3子以降の保育料無償化	1億2,413万7千円
幼児教育無償化(★)	2億235万1千円
子どものための教育・保育給付事業	47億391万4千円
民間保育園等改修費補助事業(★)	6億2,595万2千円
公立保育園移転改築事業	3億6,132万8千円
放課後子ども教室推進事業	1,441万3千円
放課後児童対策事業	3億1,029万6千円
胃がん検診への胃内視鏡検査の導入準備(★)	722万6千円
がん検診受診率向上対策事業	801万9千円
生活困窮者自立支援事業(★)	2,813万1千円
障害者施策推進事業(★)	224万7千円
地域生活支援事業(★)	9,060万3千円

◆学びと交流

中高一貫教育推進事業(★)	82万1千円
チーム学校の推進支援事業(★)	1億1,046万2千円
「ふるさと鶴岡を愛する子ども」育成推進事業	1,299万8千円
小・中学校体育文化活動奨励事業(★)	1,975万5千円
小学校大規模改修事業	2億819万4千円
鶴岡第三中学校改築事業	2億円
がんメタボローム研究推進事業	1億735万5千円
男女共同参画推進事業(★)	95万4千円
文化会館管理運営事業	1億8,361万9千円
日本遺産魅力発信推進事業(★)	948万円
松ヶ岡地域振興事業	986万7千円
保健体育総務費〈世界パドミントンU15負担金〉(★)	400万円
小・中学校冷房設備整備事業【30年度3月補正予算】	14億3,230万円

◆農・林・水産業

農業人材育成確保事業【30年度3月補正予算含む】(★)	5億2,734万9千円
地域定住農業者育成プロジェクト事業	361万8千円
園芸産地つるおかプロジェクト事業(★)	3,657万2千円
環境保全型農業支援事業	8,086万8千円
循環型農業拡大推進事業(★)	2,510万7千円
中山間地域等直接支払交付金事業	2億5,418万8千円
多面的機能支払活動支援事業	9億8,370万円
鳥獣被害対策事業	1,556万円
森林経営管理事業(★)	3,658万4千円
森林病虫害等防除事業	1,978万5千円
油戸海岸保全施設改良事業	5,563万2千円
鶴岡水産物付加価値向上プロジェクト事業(★)	170万円

◆商工と観光

企業立地促進事業(★)	7億6,989万3千円
工業一般振興事業	406万9千円
金融対策事業(★)	14億8,449万9千円
地域内企業の高度化、企業活性化支援事業	3,421万5千円
食文化創造都市推進事業(★)	5,180万2千円
商店街振興対策事業(★)	1,502万7千円
労働福祉対策事業	5,928万5千円
産業人材育成支援事業	1,121万9千円
鶴岡DMO支援事業(★)	3,918万4千円
観光一般事業	7,841万7千円
まつり振興事業	3,641万8千円
加茂水族館管理運営事業(★)	6,869万5千円
国際観光推進事業	1,449万1千円

◆社会の基盤

鶴岡市茅原北土地区画整理事業	8,704万6千円
鶴岡市歴史的風致維持向上計画事業	5,338万4千円
鶴岡まちづくりブランディング事業(★)	1億3,328万2千円
高速自動車道建設事業対策業務	194万5千円
日沿道新潟県境区間IC周辺休憩施設整備事業	539万円
都市計画道路山王町本町線整備事業	1億8,720万円6千円
除雪対策事業	6億3,921万円
市営住宅新営改良事業	3,840万円
空き家有効活用支援事業	1,750万7千円
下水道建設改良事業	33億2,590万円

◆地域の振興

地域まちづくり未来事業(★)	2億6,237万6千円
----------------	-------------

◆鶴岡のまちづくりを支え、進める取組み

市民まちづくり活動促進事業(★)	670万円
ふるさと寄附金事業	2億4,547万1千円
東京事務所各種活動事業〈市政報告会〉	347万9千円
鶴岡市総合計画進行管理事業〈鶴岡まちづくり塾〉	240万円

鶴岡市の財政・予算及びこの特集について、詳しくは本所財政課へ
☎25 - 2111内線332 ✉zaisei@city.tsuruoka.lg.jp